

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取組みましょう

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、いわき市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です

例外

例外として
次の3つの条件を満たす場合は、自宅に留まることも可能です
①洪水により家屋が倒壊又は崩落するおそれがある区域の外側である場合
②浸水する深さよりも高い部屋がある場合
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある場合
(土砂災害の場合も、頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅に留まることも可能です)

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
地域で決めた避難所はありますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅等に避難**しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3が出たら、いわき市が指定している**市指定避難所^(※)**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
地域で決めた避難所はありますか？

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅等に避難**しましょう
(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4が出たら、いわき市が指定している**市指定避難所^(※)**に避難しましょう

(※) 開設している避難所は、市ホームページ、市防災メール、テレビのデータ放送等で確認